

薬理学分野 教授 田中 智之
佐倉統 著
『科学とはなにか』

講談社、BLUE BACKS

ファーマシスト・サイエンティストの理念を掲げる本学では、1年次生の講義から「科学とはなにか」をテーマにした授業があります。「科学とはなにか」、考えて見たことはあるでしょうか？COVID-19のパンデミックの中で、多くの人が「科学」を再考しています。欧米の製薬企業が通常数年はかかるワクチン開発を1年という短期間で成功させたことは、パンデミック終息に向けた明るいニュースです。一方、アメリカではマスクをつけないことが



トランプ支持の政治的なシグナルとなったこともあり、感染が拡大しました。ワクチンを忌避する動きもあり、予断を許さない情勢です。NASAをはじめ先端科学の大国であるアメリカですが、COVID-19への対応はうまくいきませんでした。現代では「科学」は社会の欠かすことのできない構成要素なのですが、一方で私たちは「科学」とうまく付き合えているとはいえません。

本書は、動物行動学から社会と科学技術を考える領域へと活躍の場を広げてきた佐倉統先生による「科学とはなにか」という議論です。タイトルは堅いですが、具体的な事例を豊富に取り上げ、読者が「科学とはなにか」を考えるきっかけを与えます。軽妙な文章はとて読みやすく、取り上げられるエピソードはそれだけでも十分興味を持って読めるものばかりです。薬剤師は、薬という先端科学の成果のかたまりのようなものを取り扱うわけですが、届ける相手は科学者ではありません。薬物治療を全否定するような患者さんもいます。実は薬剤師は科学と社会の狭間で悩むことが多いのです。本書はそんなときにきっと役立つことでしょう。

1年次生 学内見学ツアーを実施しました

Report

学生部長 上野 嘉夫

2020年度の入学生は、COVID-19の影響で入学当初から大学内での学修や課外活動の機会が例年より著しく少なくなりました。学生部委員会では、1年次生に少しでも学内の研究室や施設を知ってもらって、知らなかった世界を発見し、これからの大学生活や将来への夢を膨らませてほしいという思いから、学内見学ツアーを企画し、3月2日に実施しました。

見学当日は荒天でコースを一部変更しましたが、参加希望者20名を4名1組で引率者（教員、上級生）が本校地、南校地の施設を案内しました。参加学生は質問をしながら熱心に見学し、同行の上級生も含めた繋がり作りもできたようです。参加者アンケートでは、今まで身近でなかった施設や研究室を見られたこと、作業体験もできたことから、3年次での研究室配属が楽しみという声が多くありました。また、先輩との質問コーナーも楽しかった様子で、このツアーを通してやる気がでた、新学期からの活力になったというような感想がありました。同行の上級生も新しい発見があったようで、大変意義深いツアーとなりました。

ご協力いただいた職員、上級生の皆様に御礼申し上げます。



臨床薬学教育研究センターでの作業体験



研究室（薬理学分野）見学の様子